

平成21年度第5回T-SPOD会議 議事概要

日 時： 平成22年1月28日（木） 16:00～17:30

場 所： 徳島大学 大学開放実践センター3F インテリジェントラボ

出席者： 鳴門教育大学 東教務部社会連携課長

四国大学・短期大学部 横島教授

徳島文理大学・短期大学部 中原教育・研究支援グループ長

阿南工業高等専門学校 松本准教授

徳島大学 曾田教授、川野教授、香川准教授、田中特任助教、吉田特任助教、

福川教育企画係長、奈良教務補佐員、森川事務補佐員

議題等：

1. 「平成21年度第6回SPODネットワークコア運営協議会」について 【p.1～12】

① 研修プログラムガイド2010の作成について

徳島大学曾田教授から資料2に基づき、報告があり、以下の通り説明及び依頼があった。

- ・2010年度版の最大の変更点は、SPOD全加盟校を対象とするところであり、「平成22年度SPODに開放できるプログラム」がある場合は、一覧表を2月10日(水)までに愛媛大学教育企画課及び徳島大学SPOD担当へ、原稿は2月26日(金)までに作成し徳島大学SPOD担当者まで送付する。また、平成22年度学内向け研修プログラムの一覧を、徳島大学のSPOD担当者に2月26日(金)までに送付する。
- ・「平成22年度SPODに開放できるプログラム」の原稿は、コア校のみに送付されている「研修プログラムガイド2010」チェックリストの「⑤FDレベルマップ」のフェーズ及びレベルを念頭に置いて作成いただきたい。

2. 「平成21年度第7回SPODネットワークコア運営協議会」について 【p.13～32】

① SPOD事業評価委員会の開催及び次年度の事業評価委員会について

徳島大学曾田教授から資料3-1～3に基づき、報告があった。平成21年度事業評価委員会は、現在日程調整中で平成22年3月中に開催予定との説明があった。

② SPOD平成22年度予算の考え方について

徳島大学曾田教授から資料4に基づき、報告があった。詳細は平成22年度以降実施計画に関する調書作成のうち、平成22年度の補助金申請予定一覧表(本会議資料 p.69、平成21年度第8回SPODネットワークコア運営協議会資料4-1)を参照していただきたい旨、説明があった。

③ 次世代リーダー養成プログラム要項について

徳島大学曾田教授から資料6に基づき、説明があった。

④ SPOD加盟校への講師派遣について

徳島大学曾田教授から資料7に基づき、報告があった。

3. 「平成21年度第8回SPODネットワークコア運営協議会」について 【p.33～74】

① 教育関係共同利用拠点認定の申請について

徳島大学曾田教授から資料1-1～2に基づき、報告があった。

② ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップの開催について

徳島大学曾田教授から資料2に基づき、報告があった。阿南工業高等専門学校の松本准教授が、メンターとして参加される旨、説明があった。

③ 高等教育トップリーダーセミナーについて

徳島大学曾田教授から資料3-1～2に基づき、報告があった。香川大学が開催担当である旨、説明があった。

④ 事業実施計画に係る文部科学省予算ヒアリングについて

徳島大学曾田教授から資料4-1～3に基づき、報告があった。

4. 「第1回SPOD運営等検討プロジェクトチーム会議」について 【p.75～88】

① 徳島大学曾田教授から、p.76～77:「SPOD運営等検討プロジェクトチームの設置について」及び「第1回SPOD運営等検討プロジェクトチーム出席者名簿」に基づき、報告があった。

また、SPOD運営等検討プロジェクトチームとは、SPODコア運営協議会に対して議題の提案・整理を行う機関であり、各構成員は各大学を代表するものではなく、個人の立場で自由に発言し意見交換を行う場として設置されたものである旨、説明があった。

② SPODフォーラム2010について

・SPODフォーラムの検討事項について（たたき台）

徳島大学曾田教授から資料1-1～3に基づき、報告があった。SPODフォーラム2010の開催日程として、平成22年8月25日(水)～28日(土)の4日間の提案があった旨、説明があった。

・中国・四国地区学生指導研修会の廃止に伴い、SPODフォーラムに学生指導のテーマを入れることになった旨、説明があった。

③ SPOD-SDプログラムの開発及び実施方法等について

徳島大学曾田教授から資料2に基づき、説明があった。

④ 平成23年度以降のSPODの運営基本方針について

徳島大学曾田教授から資料3に基づき、報告があった。

⑤ 平成23年度以降のSPOD運営経費について

徳島大学曾田教授から資料4に基づき、報告・説明があった。また、各校から平成23年度以降のSPOD運営経費について、以下のような意見があった。

- ・コンソーシアム京都の場合

拠出金を負担した場合のメリットは？

拠出金8,000万円を負担している学校はメリットをどう考えているか、等を調査して欲しい。

- ・加盟校の拠出金負担について

各戦略GPがそれぞれ応分の負担で経費を賄うということになった時、各大学は複数の拠出をしなければならない。

加盟校以外からの経費収入の可能性はあるか？

- ・各加盟校が経費を拠出負担する事について

上層部に説明するタイミングはどうするか？その際、まずはプログラム等、詳細を示す必要があり、そのための資料の整理・準備が必要となってくる。

- ・「大学コンソーシアムえひめ」の場合、経費はどのように負担しているのか？

(以上)